

## 検診における胸部・胃部併用車の導入効果について 第2報

○石田 篤史、外山 慎、遠藤 潤、亀山 欣之、鈴木 順造  
公益財団法人福島県保健衛生協会

### 【はじめに】

昨年この学会において、『検診における胸部・胃部併用車の導入効果について』を報告した。

今春、さらにもう1台の胸部・胃部併用検診車（以下、併用車とする。）が納車され、仕様変更を行った事による効果と併用車の使用状況からみた問題点や今後の使用方法について検討したので報告する。

### 【併用車の仕様変更による効果】

受診者の出入口部にある手すりの形状を変更した。また仕切り部分に手すりを新たに設置した。これら対策を講じた結果、受診者の安全面での向上をはかることができた。

### 【併用車の配属場所と使用状況】

現在、当協会には3台の併用車があり、福島・郡山・会津の各検診拠点に1台ずつ配置されている。

各地区とも午前は胸部、胃部を同時に稼働させているが、一部の会場では同じ車輦を午前は胃部検診車として稼働させ、午後は別の会場で胸部検診車として稼働させる場合がある。

一方、会場の駐車スペースが狭く、胃部検査だけを別日程で行っていた会場に、併用車を配車することにより、1日ですべての検査を終えることができるという利点があった。

### 【問題点】

胸部検査の受診者数が多い場合には、待合スペースが狭いので、検診車内に入ることができる人数に制限がある。着替えなどで時間を要する受診者がいると、男性と女性の入れ替えに時間がかかり、時間あたりの撮影人数が少なくなるという欠点があった。

### 【今後の使用方法の検討】

併用車で胸部撮影を行う際は、撮影人数の上限を設定し、上限を超えることが予知される場合は胸部単独車を配車するなど、運用上の配慮が必要になる。また、併用車以外の胃部単独車に余裕がある場合は、この車輦を利用し、検診の前半で胃部検査待合スペースまで利用して胸部撮影を行うなどの工夫が必要である。

### 【まとめ】

新しく納車された併用車では、仕様を変更することにより受診者の安全面での配慮がかなり改善された。

会場の駐車スペースが狭いため、胃部検査だけを別日程で行っていた会場に併用車を配車することにより、1日の日程で全ての検査を終えることができた。

今後、併用車を効率的に運用して行くために、受診人数や開始時間等に応じた車輦配置のルール作りを進めていく予定である。